

みんな
の未来。
とちぎ
でつくる

地域の課題を解決するために
仕組みをつくって志金を集める

 とちぎコミュニティ基金

2023



みんなの想いをカタチにする。 栃木の未来創りをします。

とちぎコミュニティ基金とは

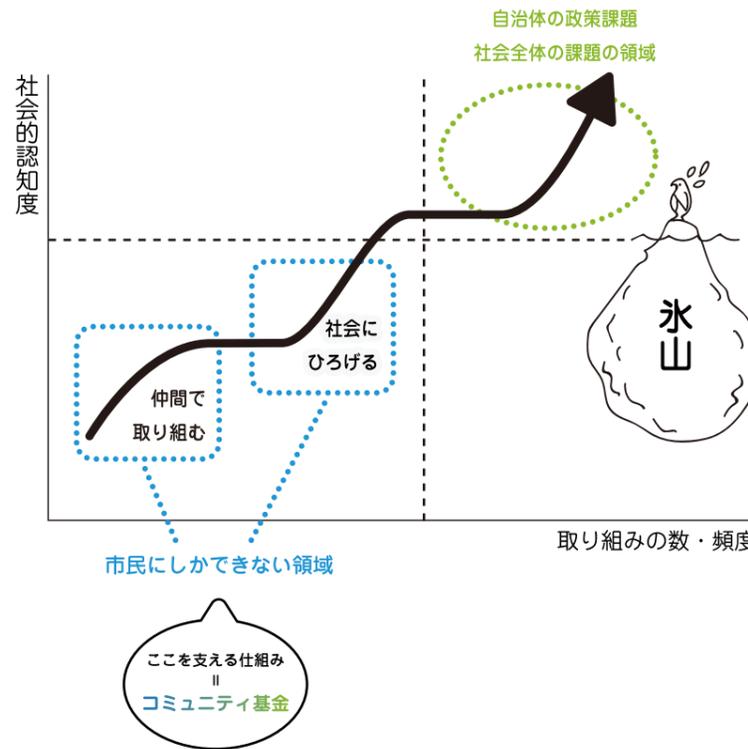
とちぎコミュニティ基金は、みんなで集め、みんなで創る栃木の未来創りのインフラです。地域の課題に対し、人・モノ・志金・アイデアをあつめ、課題解決のために実行します。一般市民、企業、NPOなどさまざまな人が関わっています。

とちコミにはプロジェクト（一緒につくる）・合同ファンドレイジング（集める）・助成（想いを託す）の3部門があります。



誰かの生活を支える公共的なしごとは、誰かがやってくれるだろうと思っている方は多いと思います。しかし、社会的に認知され政策として解決に動く課題というのは氷山の一角にすぎません。水面下には、まだ認知されていない課題が山積み。そういった課題は、わたしたち市民が解決に取り組むしかありません。

その活動を支える仕組みが、コミュニティ基金です。社会的課題を解決するために、市民の力で取り組み、市民の力で広めていきます。



とちコミを通じた寄付総額 2008-2022年

141,170,091円

栃木の未来づくりを、ともに

社会貢献にはさまざまな形があります。寄付、ボランティア、本業を活かしたスキルやアイデアなど、多様な参加方法があります。できることを持ち寄ってともに栃木の未来づくりをしませんか。

とちコミの「仕組み」を支える「とちコミサポーター」も募集しています。サポーターには、栃木のSDGsと市民活動の今がわかる「とちコミSDGs通信」をお送りします。



こんなことはありませんか？ こんなときはとちコミにご相談ください！

寄付したいけれど、いいNPOやボランティア団体はないかな？

NPOってよく分からない。怪しくないの？

結婚記念日や冠婚葬祭など人生の区切りにあたって、感謝の気持ちを社会貢献で表してみたい。

わが社のSDGs達成に向けて予算をつけたが、有効な使い方はないだろうか？

会社の創立10周年を記念して、なにか社会貢献したい。



社会への恩返しの気持ちにぴったりのボランティア団体を探している。



もう年だし、直接ボランティアはできないけど寄付でなら応援したいなあ。



とちコミの歩み

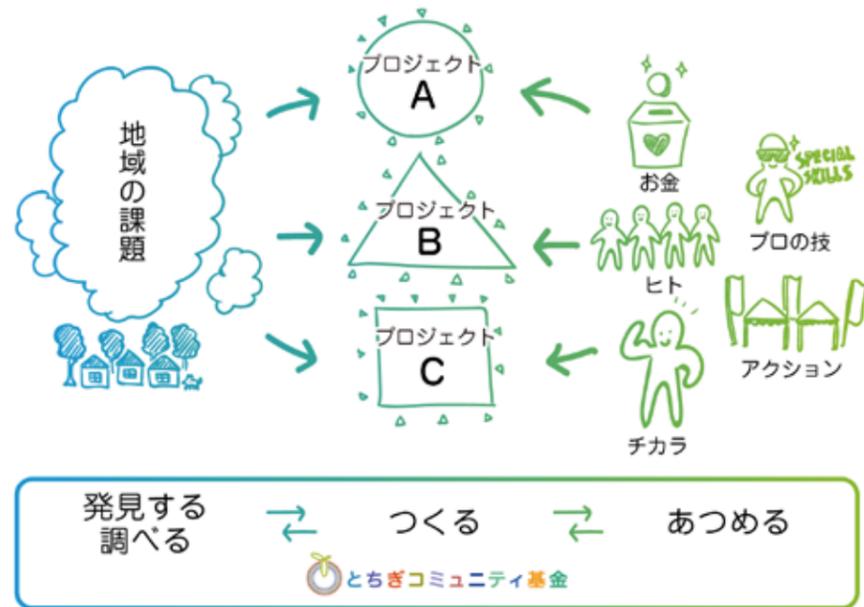
- 2007** とちぎボランティアネットワーク内にとちぎコミュニティ基金設立。「とちぎゆめ基金」開始。
- 2009** 花王ハートポケット倶楽部地域助成（栃木）開始。
- 2010** 合同ファンドレイジングが始まる。「第1回寄付ハイク」で47人が参加、58万円の寄付があつまる。
- 2011** 栃木県主催事業「認定NPO法人になろう！キャンペーン」と連携し、NPO法人への講座を実施。
- 2015** 「第8回寄付ハイク」で122人が参加、62万円の寄付があつまる。「RUN for CHILDREN 子どもの貧困撃退ラン」を行い、35万円があつまった。
- 2016** 「第1回子どもの貧困撃退チャリティ サンタ de ラン」を開催。県内8団体に約234万円をお届け。
- 2017** 県北の篤志家が「たかはら子ども未来基金」を設立。子どもの貧困の現状を調査する円卓会議を実施し、「子どもSUNSUNプロジェクト」がはじまる。
- 2019** 10月に発生した台風19号の被災を受けて、「がんばろう栃木！募金」をあつめ、助成する。
- 2020** 合同寄付キャンペーン「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」がはじまる。子どもや家庭を応援する13のプログラムに885万円をお届け。
- 2021** 休眠預金を活用した「とちぎ新型コロナウイルス対応緊急支援助成」（助成総額2900万円）がはじまる。
- 2022** 「第7回サンタ de ラン&クリーン」では県内18団体に704万円の寄付をお届けする。遺贈寄付セミナーを開催。

01

プロジェクト

一緒につくる

地域の課題をみんなで解決するために、課題を「調べ」、いろいろな力を「あつめ」、必要な活動を「つくる」いきます。企業、学校、病院、福祉施設、NPO、行政、ボランティア、地域住民など多様な人が関わっています。



子ども SUNSUN プロジェクト

困っている子ども、7人に1人。

貧困状況にある子どもとその家族に「必要な支援が届くこと」を目指します。NPO等の支援団体や市民が主体となり、**学習支援・生活支援・居場所づくり**を通じて“市民でできる貧困対策”を実施します。調査をして、ボランティア31,200人と、1人1,042円の寄付でなんとかなるといふ結果もできました。

2022年度は、4月に「子ども食堂はみんなの居場所キャンペーン」をオリオンスクエアで開催。地域の人々が支え・集える居場所としての「子ども食堂」を発信しました。七瀬美菜さんやOGサウンズのステージや、フードドライブ、出張子ども食堂などの出店がありました。

9月の総会では「外国ルーツの家庭の子どもの未来のために～日本の制度の問題点～」として、NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）大川昭博さんを招き基調講演を行い、約50人が参加しました。

3月の定期円卓会議では、「外国ルーツの子どもの貧困調査報告会」を行い、オンラインで25人が参加しました。

また、2年間で募った寄付を活用し、子どもSUNSUN助成金の分配を行い、子ども食堂や居場所の活動に役立てられています。

寄付総額
8,902,474 円
2020年



action!

あなたにもできること

環境、外国ルーツ、国際協力、文化、福祉などの分野で、みんなで調査し作戦を立てる「円卓会議」に参加したり、会議を開催したりしましょう。また、現在進行中の子どもSUNSUNプロジェクトに参加して、一緒に活動したり、仲間を増やしたりしましょう。



02

合同 ファンド レイジング

募金する、集める

ファンドレイジングとは、NPOの資金集めのこと。合同ファンドレイジングでは、複数のNPO・市民活動団体が共同のテーマで、一緒に資金を集めます。個人や企業など様々な人とともに寄付を集めることで、社会問題を広く知らせることも大きな目的のひとつです。



子どもの貧困撃退チャリティ サンタ de ラン

サンタになって子どもの貧困をなくそう！

子どもSUNSUNプロジェクトの一環として、毎年12月に300人が街中を集って一日サンタになり、子どもの貧困と支援活動の周知をはかります。参加費は、栃木県内の子ども支援団体への寄付になります。

寄付総額
33,856,013 円
2016-2022年



サンタ de ラン実行委員 佐藤英治さん

昨年の寄付総額がなんと700万円を突破！！ますますパワーアップしているサンタdeラン。日本の子どもの7人に1人、ひとり親家庭の2人に1人が、「貧困家庭」と言われています。皆さんも、楽しみながら、サンタになって一緒に貧困問題解決に取り組みましょう！！

チャリティウォーク

栃木の助け合いはフードバンクから。

2013年に始まったフードバンク活動の周知と寄付集めのチャリティイベント。2022年は参加180人、寄付280万円、食品131キロが集まりました。参加費は県内7つのフードバンクへ寄付されました。

寄付総額
26,759,577 円
2016-2022年



ウクライナ難民支援募金

戦争避難の人々への人道支援

2022年3月、とちぎコミュニティ基金は(財)とちぎYMCAと合同でウクライナ難民支援の緊急募金活動を行いました。寄付は日本YMCA同盟を通じて、ウクライナYMCA、ポーランドYMCAに送り、難民の救援活動に使われました。

寄付総額
1,931,345 円
2022年



これまでに募金活動をした災害

募金は被災地での災害支援や復興支援、防災活動を行うボランティア団体、災害ボランティアセンターなどに寄付しました。

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|--------------------------------|
| 1997/日本海重油災害 | 2002/栃木市水害 | スマトラ地震・ハイチ地震 | 2016/熊本地震 |
| 1998/那須水害 | 2003/宮城県北部連続地震 | 2010/青海省地震・奄美黄島水害 | 2019/栃木県台風19号災害 |
| 1999/トルコ地震・台湾地震・那須八溝 | 2004/新潟水害 | 2011/東日本大震災・紀伊半島大水害 | 2021/佐賀水害 |
| 2000/有珠山噴火・三宅島噴火・東海水害 | 2007/能登半島・岩手宮城内陸部地震 | 2013/山口島根豪雨 | 2022/ウクライナ難民支援・新潟静岡水害・トルコシリア地震 |
| ・芸予地震・インドグジャラート地震 | 2008/兵庫県作用町水害 | 2014/広島水害 | |
| 2001/高知西部水害 | 2009/台湾フィリピンベトナム水害 | 2015/ネパール地震・栃木茨城水害 | |

action!

あなたにもできること

社会資源の解決のために必要な資源（人・モノ・志金）を集めましょう。ユニークな寄付集めイベントができちゃうかも？！

わたしたちと
ともに活動しよう！



思いを託す

助成とは、みなさんからの寄付を市民活動団体に託すことです。例えば、「自然保護を支援したい」「地域の福祉に貢献したい」など、テーマ・目的を決めて助成しています。助成金は特色のある活動をしている団体にお渡ししており、プログラムによって異なります。過去の助成についてはホームページをご覧ください。

花王ハートポケット倶楽部

企業が設立！

心あたたまる栃木に。花王による基金

花王ハートポケット倶楽部による助成金です。花王株式会社では、社員の給与の一部から積み立てて社会貢献寄付プログラムを実施し、全国・地域のNPOを社員と企業で応援しています。栃木の地域助成は、毎年秋に募集を開始し、総額50万円をNPO（法人格問わず）に助成します。

KAO

花王株式会社

花王ハートポケット倶楽部は社員の寄付組織です。2007年から「とちぎコミュニティ基金」の冠助成として、のべ76件の助成を実施してきました。今後もより良い地域づくりに取り組むさまざまな団体を応援していきます。

寄付総額
8,260,000円
2007-2022年

2021年度
助成団体の
活動の様子



とちぎゆめ基金

NPOが設立！

障害者自身が他の障害者を支援する

自動販売機の缶の詰めかえを障害者団体に委託し、賃金を発生させる仕組みで、その一部を基金として積み立てています。高根沢町にあるNPO法人とちぎ障害者労働自立センターゆめが、ダイドードリンコ㈱と業務提携し、障害者の仕事づくりを行っています。



NPO 法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ 増田さん

ゆめ基金は、県内の障害を持った方などが自動販売機の補充作業をして積み立てております。多様な社会課題に気づき、活動を始めたいと考えている方々にこの基金を使ってもらい、活動のきっかけをつくれたいと思います。

寄付総額
3,030,000円
2008/2009/2013/
2014/2020/2021年



たかはら子ども未来基金

個人が設立！

若者と地域に、未来への種まき。

子どもや若者の未来を応援する目的で、県北在住の夫妻が設立した基金です。境遇や生育環境に関わらず、全ての子どもや若者が等しく人生を拓く機会を得られることを目指します。2017年から開始し、学生が長期間、NPOにインターンシップをすることを助成で応援します。これまでに学生42人、34団体に助成をしました。



基金設立者

高原山の麓に育ち、社会に出て地域の人に支えられ、学び、経験をした。将来を担う子どもや若者が、貧困や孤立などで、教育機会や社会とのつながりをなくしている現実がある。人生の成長過程で一番大切な時期を、少しでも支援したい。若者が地域の課題を住民と共に考える機会が得られることを願う。

寄付総額
4,488,334円
2017-2022年



休眠預金活用事業

ひとりにしない、させない助成

休眠預金の活用により、様々な困難を抱える人々を支援したり、だれもが住みやすいまちをつくらたりする栃木県内の活動を助成金で応援する仕組みが2021年から始まりました。とちコミは、2021・2022年度の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に採択されました。

助成総額
34,346,834円
2022年

ひとりにしない、
させない助成
新型コロナウイルス対応 緊急支援助成

助成採択団体とプロジェクト名

●休眠預金活用事業

子どもの居場所OZ 350万円
N) そらいろコアラ 476万円
N) 風車 240万円
N) 子どもの育ちを応援する会 300万円
一社) えんがお 485万円
一社) こども食堂ノエル 500万円
N) 那須高原自然学校 <コンソーシアム申請> 495万円
N) キーデザイン 399万円
とちぎ公立夜間中学校研究会 200万円

●子どもSUNSUNプロジェクト助成金

N) 栃木県こども応援なないろ 10万円
N) 雀宮まちづくりプロジェクト 10万円
駄菓子屋商店おっちゃん家 10万円
N) 青少年の自立を支える会 10万円
N) 国際アロマセラピー療法協会
N) あかね会
宮っこ支援センターSAKURA 20万円
N) そらいろコアラ 20万円

●とちぎゆめ基金

さくらんぼ小山会ほか 18万円

●花王ハートポケット倶楽部・地域助成

N) 子どもの育ちを応援する会 20万円
一社) 青空プロジェクト THE DAY10万円
N) ゆっくりサロン 10万円
N) チャイルドラインとちぎ 10万円

●たかはら子ども未来基金

公財) とちぎYMCA 4万円
N) 子どもの育ちを応援する会 4万円
N) そらいろコアラ 4万円
N) 青少年の自立を支える会 4万円
N) 風車 4万円
一社) こども食堂ノエル 6,667万円
N) ポン・テ 16,667円
インターン生12人 635,000円

●チャリティウォーク

フードバンク県北 1,251,410円
N) フードバンクうつのみや 547,457円
フードバンク日光 127,963円
フードバンクもおか 137,044円
フードバンクしもつけ 25,091円
フードバンクさくら 40,145円

●子どもの貧困撃退チャリティサンタdeラン

N) とちぎボランティアネットワーク 1,397,989円
子どものみらい応援隊 226,672円
N) だじょうぶ 494,856円
公益財団法人とちぎYMCA 215,013円
N) トチギ環境未来基地 20,714円
N) うりずん 617,958円
N) フードバンクうつのみや 1,210,413円
N) 青少年の自立を支える会 15,314円
きよはら食堂キャラバン 19,727円
ちゅんちゅんこども食堂 197,272円
宮っこ元気食堂 84,532円
家庭教育オピニオンリーダーたんぼぼの会 108,904円
N) やぎハウス 280,135円
自主夜間中学宇都宮校 8,877円
N) そらいろコアラ 42,894円
N) キーデザイン 9,864円
N) 蔵の街たんぼぼの会 231,033円
N) チャイルドラインとちぎ 103,568円

action!

あなたにもできること

ふるさと栃木への遺贈（遺言による寄付）のご案内

遺言書をつくり、遺産を特定の人に贈ったり寄付したりすることを「遺贈」といいます。

「人生最後の自己実現」
「お世話になったひと、まちへの恩返し」
「未来へつなぐ贈り物」
など遺贈は静かな拡がりを見せています。

当基金は、個人や企業の善意の形である寄付を集め、地域社会の課題を解決する市民活動（ボランティア・NPO・住民組織）に効果的につなげていく「意志あるお金」のコーディネートと、専門業務として行っています。

◆ ◆ ◆
「遺産や相続財産を寄付したいが、最適な寄付先が分からない」
「自分の遺産を活用してほしいが何をすればよいか分からない」
「遺産をビジネスや行政ではなく、地域活動などの目に見える形で活用したい」などのご意志をお持ちの方は、ぜひご相談ください。



■とちぎコミュニティ基金 info@tochicomi.org
■全国レガシーギフト協会 URL: https://izoukifu.jp

「助成金」をつかって活動を応援する

企業・団体や個人からの寄付で、特にテーマを指定して応援したい場合に、寄付者のお名前や助成目的を冠した特別枠のファンド（じぶん基金）を作ることができます。地域の未来のため、想いを形にしてみませんか。詳しくは、事務局までお問合せください。

じぶん基金 設立の流れ

市民・企業・団体のみなさん

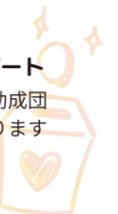
- 遺贈・生前寄付をしてみたい方
- 社会貢献の気持ちを形にしたい方

とちコミによる設立サポート

- 寄付をどう役立てたいか教えてください
- 助成の目的や選考基準等も独自に決められます

じぶん基金設立＆運営サポート

- 助成金の分配だけでなく、助成団体のサポートを行うこともあります



私たちが 未来を変える。

ともにアクションしている仲間たち



一般社団法人えんがお 濱野 将行さん

とちコミは、栃木のNPOを繋ぎ支える大きな架け橋。
ひとりで起こす変化は小さくても、一人一人がつながれば大きな変化に変わります。これからも、栃木をつなぎ加速する活動に期待しています。



会社員 藤咲 健司さん

困っている方を支援する方々を応援し、さらに支援の輪を拡げていくのがとちコミの役割。「支援の支援」が求められている今こそ、企業で働く私たちだからこそできるボランティアが沢山あります！



ボランティア 羽石 洋子さん

行政の支援を受けられない人や団体が沢山あります。見て見ぬふりをせず、できることを楽しみながらやっていく。手助けや志金の贈り物をする事で、心が豊かになり、幸せをいただく。仲間を取り組み社会に広げていきましょう！！

ご寄付・ご支援のお願い

とちコミでは、各ファンドレイジング・プロジェクトにおいて、寄付を募っています。また、みなさまのお名前でも「助成金」をつくることや、遺贈・生前寄付もお受けします。**栃木の未来のため、子どもたちの未来のために、みなさまのご協力が不可欠です。**みんなで栃木の未来をつくりましょう。

寄付をする

● クレジットカード決済

ホームページからお手続きください
<https://www.tochicomi.org/donate/>

● 銀行

栃木銀行馬場町支店 普通9918708
名義 (特非)とちぎボランティアネットワーク 理事 矢野正広
※領収書発行のため電話等でお名前、ご住所をお知らせください。

● 郵便局

口座番号 00110-8-281282
加入者名 とちぎコミュニティ基金

ボランティアとして支援

チャリティイベントなどの寄付集めや、啓発イベントの実施の際にボランティアを募集しています。また、プロの技を活かしたプロボノもあります。スキルや経験を課題解決に活かしてくれる方も募集しています。



〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田 2-5-1 共生ビル 3階
認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク内
電話 028-622-0021 FAX 028-623-6036
メール info@tochicomi.org
ホームページ tochicomi.org
受付時間 10:00 ~ 18:00 (日・月・祝を除く)



🔍 とちコミ 検索